本学における「Breast cancer susceptibility gene(BRCA)関連バイオマーカー｛Mutaionsl Sugnature-based Biomarker：MSBM｝の探索研究」の概要について

京都大学における研究組織：
研究責任医師：万代　昌紀　職名：教授
研究期間：研究機関の長の許可日より 2027 年 3 月 31 日
京大における目標症例数：10 例程度
研究概要：腫瘍の発症メカニズムの解明、ならびに遺伝的背景と治療効果、予後との関係の解明、新規標的分子の同定を目的として。進行高異型度卵巣癌において、全エクソン解析を中心とした網羅的ゲノム解析を行い、相同組換修復異常に関わるゲノムの特徴を明らかとするとともに、予後解析を並行して行い、薬剤感受性に関わるバイオマーカーについても評価を行う。
　当院で進行卵巣癌・卵管癌・腹膜癌と新規診断された患者のうち、当研究の内容を十分説明して同意を得た患者に対し、手術もしくは生検により得られた試料および血液サンプルを、主たる研究機関である東京大学医学部附属病院産科婦人科に送付し、同機関にて、上記解析を行う。
記録等の保存：本研究で使用した文書および電子的記録を研究終了後 10 年間は保存する。
研究機関の長への報告
・研究の倫理的妥当性や科学的合理性を損なう事実もしくは情報、または損なうおそれのある情報を得た場合は、速やかに安全性情報に関する報告を行う。
・研究実施の適正性や研究結果の信頼性を損なう事実もしくは情報、または損なうおそれのある情報を得た場合は、速やかに不適合報告書を提出する。
・年次報告は介入研究および侵襲（軽微な侵襲を除く）を伴う観察研究においては毎年必要であるが、それ以外の研究においては1回/3年以上とする。中止・終了報告は適宜行う。
・利益相反：当院の研究者の利益相反については、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査している。
利用または提供を開始する予定日：当院の研究実施許可日
資料・情報の管理について責任を有する者の氏名・名称：京都大学
【研究に関する問い合わせ先】
〒606-8507
京都市左京区聖護院川原町 54
京都大学医学部附属病院産科婦人科
滝　真奈
【病院の相談窓口】

京都大学医学部附属病院　臨床研究相談窓口
電話:075-751-4748
E-mail:ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp